

いの町観光協会取り組み説明会＆「絵の中のぼくの村」上映会を開催しました。

7月14日、21日、28日の3日間、いの町内3カ所でのいの町観光協会取り組み説明会＆「絵の中のぼくの村」上映会を開催しました。

いの町観光協会が今年取り組むいの町からのイベント受託事業、観光資源再発見事業、情報発信事業やいの町の観光資源について説明をさせていただきました。

また、いの町の観光資源（シャクジョウカタシ等）を利用し11年前に吾北地区などで撮影された映画「絵の中のぼくの村」の上映会も同時に開催しました。

7月28日の説明会には7月29日から高知県立美術館で開催されている「田島征彦・田島征三の半世紀展」（いの町観光協会は協力団体）のために来高されていた田島征三さんに駆けつけていただき、原作者としての思いや映画制作時のエピソードなどをお話いただきました。



いの町グリーンツーリズムだより(第15回)

企画広報部「おもしろい企画づくり」第2弾

『建築巡礼 in いの(パート2)』

いの町グリーンツーリズム研究会企画広報部では、「おもしろい企画づくり」の第二弾として7月9日(日)に『建築巡礼 in いの』と題して「土佐和紙工芸村」をウォッチングしてきました。

工 芸 村

工芸村は、移築された伝統的な家屋や蔵がある一方で、伝統的な構造や意匠を現代建築に取り入れた施設もあり、建物の種類や歴史的变化を比べながら鑑賞できる、いわば建築博物館的な貴重な場所でした。



宿泊施設「くらうど」

宿泊施設の「くらうど」は、コンクリートの現代建築ながら、木造建築の構造を取り入れ、石灰岩を壁面に利用するなど、地域の風土と調和した歴史的建物です。エントランスを抜けた二階の広間からは、桜の木々越しに白壁、三角屋根、水切り瓦の移築の蔵が眺められ最高です。そのうちの棟は、ギャラリーとして利用されていました。

また、高台にある移築の家屋は、機織り工房として利用されていました。この軒ゆきは圧倒的な長さで必見でした。

今後も企画広報部では「おもしろい企画」を考え、ツアー化していく予定です。
楽しい企画づくりに、あなたも参加しませんか。一般参加者大歓迎です。